

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	多機能型プラットホーム・かもベ(単位1)		
○保護者評価実施期間	R8年1月21日		~ R8年2月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	R8年1月26日		~ R8年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験豊富な保育士・看護師、摂食嚥下障害認定看護師の配置により、利用児の特性に応じた専門性のある支援ができる	* 年齢に応じた発達等の特徴、障がい特性や基礎疾患についてなど、職員の知識向上のための所内勉強会を実施している * 利用児の好き・苦手な分野をスタッフ全員で共有し、支援に生かしている	* 利用児ごとに、個別的にレファレンスを行い、より充実した支援につなげていく * 外部研修等を活用し、さらに専門性の向上を図る
2	必要な医療ケアが安全に提供できている	* 利用児の1日のスケジュールをスタッフで共有し確認できるボードの作成や服薬等のダブルチェックの徹底 * 複数のスタッフで健康状態を確認している	* 声出し確認の徹底（特に忙しい時など抜かりがないか確認する） * 新たな処置やケアが追加された際には勉強会を開く
3	保護者と密な情報共有により、共通理解ができている	* 連絡帳だけでなく、送迎時に直接、保護者と話し、コミュニケーションを図っている * 保護者から相談があった時には、その内容を多職種で検討し、対処法等を提案している	* サービス利用中の状態変化や服薬など、気になることがある場合は、その都度こまめに保護者に連絡、確認する

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	全員そろってのミーティングの時間が取れない	* 勤務日・勤務時間が一律でないことや利用前後には送迎があるため、全員が揃うことがない	* 定期的なミーティングの日を設定 * Zoom等の活用で全員参加につなげる
2	地域で他の子どもと活動する機会がない	* 医ケア児が多く、感染予防が優先される * 利用児ごとに経管栄養等、必要な医療ケアの時間が異なるため、時間調整が難しい * 医ケア児が外出する際に、同行する看護職員の確保	* 他の子どもとの活動は難しいが、日々の活動の中で、散歩や買い物などできるだけ地域に出かけ、地域の方に事業や医療ケア児のことを知ってもらう
3			